

令和元年度日韓国際交流事業（韓国訪問）報告

11月20日（水）～23日（金）の2泊3日の日程で、日韓国際交流事業の一環として、韓国を訪問しました。日韓関係が政治的に難しい状況下で、安山市半月初等学校を訪問し、授業の見学や児童作品交流、来年度以降の交流に関する協議などを行いました。

1. 成田空港を出発、韓国仁川空港に到着

アジアナ航空OZ101便にて、成田空港を13時20分に出発。韓国の仁川空港に到着したのは16時00分です。半月初等学校のPTA委員さんの歓迎を受けました。

そのまま安山市にあるアウラホテルに行き、協会副会長さん経営の飲食店で食事会を行い、1日目が終了しました。



（安山市の様子）

2. 半月初等学校を訪問



2日目は、半月初等学校を訪問しました。9月に半月初等学校の校長先生が変わられ、両校の校長が新しく着任されたことから、日本側から呼びかけ、訪問が実現しました。政治的情勢の厳しい中での訪問で、韓国側は緊張感をもっての出迎えのような印象を受けました。「校長が変わったことで、お互いに顔を合わせることが交流継続の一步となる」と話し、場が和みました。校長先生、教頭先生、交流担当の先生や館長さんはじめPTA会長さんの歓迎を受けました。

協議会では、来年度の交流について、お互いに意見を出し合いました。そこで確認したことは、次の点です。

- 公には、訪韓・訪日は難しい。
- 民間を交え、作品交流を中心に細く長く継続したい。

その後、先生方と給食を共にし、体育館にて児童発表の見学を行いました。最後に、施設見学をしました。

3. 歓迎夕食会

焼肉屋で、歓迎の夕食会を開いてくださいました。20名ほどで始まりましたが、出入りも多く、最終的に何人だったか把握できないくらい盛り上がりました。驚いたことは、韓国の方々の食べる量です。話をしていると皿に肉が盛られ、手を付けないと強引に食べさせられる状況です。

個人的には、20年前に保護者として訪韓・ホームステイをした金さん夫妻が、写真持参で駆け付けてくれ20年前の写真を見ながら、懐かしむことができました。「こういうつながりもあるんだな」と感慨深く思いました。

4. 終わりに

2泊3日の韓国訪問を終え、仁川空港13:30出発のアジアナ航空OZ102便にて、韓国を後にしました。帰りも、PTAの方々が最後まで見送りに来てくださいました。

帰国と軌を一にして、韓国から作品が届きました。韓国の歴史的な建造物等の作品と紹介でした。日本からも、児童の作品を学年ごとに作成し送りました。1月の作品展にて、展示・紹介しました。

また、半月初等学校の校長先生宛にお礼の言葉を国際FAXで送付しました。

今回の訪問を通して改めて、鳴浜小学校と半月初等学校の交流の歴史と、それに携わった人々の思いを実感しました。さらに韓国半月初等学校の公には難しいながらもPTA関係者の方々のわたしたち訪問団に対してのおもてなしの心の素晴らしさでした。たいへん勉強になりました。関係の方々に感謝を申し上げます。

